

令和3年12月新見市議会定例会
日程第4（市長の行政報告について）

市長行政報告

本日、12月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆さま方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、前回の市議会定例会以降についての報告をさせていただきます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。

本市におきましては9月9日以降、新規感染者は確認されておりません。市民の皆さまには、日々の感染予防にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、10月末の接種率が、1回目89%、2回目86.5%と、県下でトップになっております。3回目となる追加接種につきましては、まず医療従事者を対象に、12月から開始できるよう準備を進めており、スムーズなワクチン接種の実施に努めてまいります。

地域経済の状況としましては、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、多くの事業者の皆さまが打撃を受けておられます。その支援策として、新見市中小企業者等一時支援金（第二期）の給付を実施することとし、10月から受付を開始いたしました。11月19日現在で166件の申請を受け付けております。また、現在、50%のプレミアムが付いた大変お得なクーポン券の販売事業を行っておりますので、市民の皆さまには、このクーポン券を利用していただき、市内経済の活性化にご協力いただきたいと思いますと考えております。

続きまして、第3次新見市総合計画における施策展開分野ごとの主な事項について、ご報告させていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

観光分野につきましては、新型コロナウイルス感染者数の減少に伴う人流の増加に合わせて、市内への誘客を目的とした新見市周遊型観光ツアー助成事業の申請件数が増加してきております。そのため、本定例会に増額補正予算案を計上しており、交流人口の増加による市内経済の活性化を図りたいと考えております。今後も、十分な感染防止対策を講じながら、観光振興に努めてまいります。

林業振興につきましては、皆伐再造林を目的として、森林環境譲与税を財源とする新見市植林促進事業補助金を創設しておりますが、当初の予定を上回る多くの申請を

いただいております、こちらも増額補正予算案を計上しているところであります。引き続き、持続可能な資源として「伐って、使って、植えて、育てる」という循環サイクルの促進に取組み、土砂災害の防止効果など、森林の持つ多面的機能の発揮につながるよう森林整備の推進に取り組んでまいります。

次に、「健康・福祉」についてであります。

新型コロナウイルスワクチン接種の対象となっていない生後6か月から小学校6年生までの乳幼児・児童に対し、新型コロナウイルス感染症と識別困難なインフルエンザの発症を予防するため、本市独自にインフルエンザ予防接種費用の助成事業を実施しております。1人1回あたり最大3,000円を助成しておりますので、積極的にご利用いただきたいと考えております。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

10月13日に令和3年度第1回新見市総合教育会議を開催いたしました。小規模校のメリットやデメリットを踏まえたうえで、今後の小規模校の方向性について、教育長をはじめ教育委員の皆さまと意見交換を行いました。今後は、小規模校のメリットを活かしつつ、ICT教育の活用等によりデメリットを補いながら存続を目指すことを基本とし、それぞれの地域の意向を伺いながら、子どもたちにとって最適な教育環境を整えていくという認識を共有いたしました。

山田方谷先生のNHK大河ドラマ化の実現に向けた活動につきましては、新見駅構内及び市内図書館などへのPRコーナーの設置や、PRグッズの作成、関係自治体等と連携したPR活動など、様々な取組を積極的に実施しております。また、11月8日には県知事や高梁市長とともに、NHKへ赴き、要望活動を行ったところであります。引き続き、大河ドラマ化の実現に向けて、取り組んでまいります。

また、新見美術館におきまして、8月28日から10月3日まで「93歳のフォトグラファー 西本喜美子写真展」を開催いたしました。期間中には、トークショーや写真教室等も行われ、約8,700人も多くの方が来館されました。今後も、独自の企画展を開催し、文化芸術の振興を図ってまいります。

次に、「安全・生活基盤」についてであります。

防災につきましては、市内28の自主防災組織で構成する新見市自主防災組織連絡協議会を10月21日に開催し、本年8月の秋雨前線豪雨時における本市の対応や各自主防災組織の取組等についての情報を共有するとともに、避難所の運営や避難行動要支援者に対する支援を要請いたしました。

また、11月23日には、新見公立大学におきまして、市民センターや公民館の職員を含む本市職員と自主防災組織等が連携した避難所運営訓練を実施し、連携体制の強化や防災意識の高揚を図りました。

消防・救急体制につきましては、将来に向けた持続可能な消防体制を構築するため、

新たな消防庁舎を建設することとしておりますが、この度、新見水舟地区を建設用地に決定いたしました。来年度から基本設計・実施設計に着手し、令和6年度中の完成を予定しております。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

新見駅周辺のまちづくりにつきましては、10月27日に新見駅周辺まちづくり検討委員会から基本方針（案）の報告をいただき、この（案）を基に「新見駅周辺まちづくり基本方針」を策定いたしました。引き続き、今年度末をめどに、具体的な取組やその実施時期を整理した基本構想の策定に向けて検討を進めてまいります。

芸備線の利用促進につきましては、10月8日にJR西日本と沿線自治体の関係者による第2回検討会議が開催されました。今回の会議では、秋以降の具体的な利用促進策について協議し、本市からは二次交通の改善や官民連携組織による沿線の魅力発信について発表いたしました。現在、二次交通の改善として哲西地域芸備線利用促進事業を実施しているほか、新見市鉄道利用促進協議会による沿線の魅力発信事業を順次実施しているところであります。これら各種取組の相乗効果による、利用者の増加を目指してまいります。

公共交通の整備につきましては、地域の実情に応じた公共交通のあり方を調査研究するため、千屋地域と菅生、坂本の一部を対象に、乗り合いタクシーの実証運行を開始いたしました。利用された方のご意見を伺いながら、利便性の高い効率的な交通体系構築を目指してまいります。

また、11月16日に東京都内で開催されました「安全・安心の道づくりを求める全国大会」に出席し、全国の首長約580人を含む関係者とともに、防災・減災対策の充実強化や交通基盤の整備促進を求める決議案を採択後、地元選出の国会議員に決議された要望書を提出いたしました。激甚化・頻発化している自然災害の脅威に備え、道路整備及び管理が長期安定的に進められるよう、今後も働きかけを行ってまいります。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

移住相談会につきましては、11月7日に東京交通会館におきまして「暮らしジュシー！岡山県フェア」が開催されました。本市職員と新見市移住交流支援センターの職員が参加して移住相談に応じるとともに、会場では、私が自ら出演した動画により本市の魅力をPRしたところでございます。引き続き、様々な機会を通じて本市の情報発信を行い、移住者の確保に努めてまいります。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしました。引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。